

市民センターの多目的利用の状況について（報告）

1 概要

「多様な主体による全世代参加型の地域コミュニティの構築」を目指して、若者や子育て・現役世代の利用を促進するため、市民センターの利用条件を見直し、令和7年4月より市民センターの多目的利用化を行ったもの。

- 多目的利用登録者受付開始 令和7年4月1日
- 多目的利用予約受付開始 令和7年5月20日

2 多目的利用開始後の状況について（令和7年9月末時点）

- （1）多目的利用者登録件数 238件
- （2）多目的利用件数 558件

①区 別

	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	合計
利用件数	121	49	69	76	71	144	28	558
多目的利用があった 市民センター数	10	11	13	9	12	25	7	87

②対象世代別

対象世代	主な活動	利用件数
若者・子ども	学習教室、書道、珠算、ダンス教室など	157
現役世代	料理教室、縫製教室、企業の社内会議など	245
子育て世代	リトミック教室、ベビーマッサージ教室など	7
高齢者	健康サロン、体操教室など	5
特定の世代を対象としない	ウクレレ教室、書道教室、相談会、物品販売など	144
合計		558

3 利用件数や利用率の比較（対前年度）

（1）有償貸付部分の利用件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
令和6年度 利用件数	22,252	21,989	23,289	24,130	19,551	23,071	134,282
令和7年度 利用件数	22,450	21,646	22,959	24,128	19,549	23,643	134,375
うち、多目的 利用件数	—	17	108	151	143	139	558

(2) 市民センターの利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
令和6年度 利用者数(人)	242,532	246,836	270,501	278,944	220,886	264,456	1,524,155
令和7年度 利用者数(人)	264,573	245,848	272,140	321,002	233,458	273,719	1,610,740
うち、多目的 利用者数(人)	—	139	1,258	1,645	1,611	1,589	6,242

4 利用者の感想、職員の意見(利用にあたっての良い点、悪い点)

(1) 利用者の感想

(良い点)

- ・使用料が安く、施設としても使いやすい。(主催者)
- ・児童の徒歩圏内にあり、子ども向けの教室等が実施しやすい。(主催者)
- ・身近な場所でイベント等が開催されるため参加しやすい(参加者)
- ・これまでなかった児童対象のダンス教室が始まって嬉しい(参加者)
- ・駐車場があるため子どもの送迎に便利。保護者の迎えを待つ時間もセンター内で過ごせるため、子どもを安心して通わせることができる。(参加者)

(悪い点)

- ・使用の都度、紙で申請書の提出が必要など、使用手続きが煩わしい。(主催者)
- ・直前(1か月前)まで予約できないため、イベント等を実施する際の周知期間がとれない(主催者)
- ・市民センター内でチラシやポスターの掲示ができないため、講座等の参加者募集が難しい(主催者)

(2) 職員の意見

(良い点)

- ・これまで市民センターを利用していなかった若者や現役世代の来館が増加した。
- ・多目的利用の導入にあわせた広報により、市民センターの認知が広がり、全体の利用者が増加した。

(悪い点)

- ・直前(1か月前)まで予約ができないため、問い合わせの段階で利用を諦める人が多く、利用ニーズを取り込めていない。
- ・市民センターとして、多目的利用のイベントや講座等をPRすることができないため、多目的利用による来館者の呼び込みや賑わいづくりに取り組むことが難しい。

5 利用促進に向けた取組や広報の現状

- 「市政だより」の掲載（3／1号）
- 「市ホームページ」の掲載、「市SNS（X、LINE、note）」による配信
- 「チラシ」の配布、「ポスター」の掲示（市民センター、主要な公共施設等）
- 「地域情報誌」への掲載、「公益経済団体メールマガジン」による配信